

審判上の確認事項

大会審判委員長

1. 競技服装について
 - (1) 選手のユニフォーム（ジャージ、パンツ、ソックス）は、形状、色、及びデザインをチームで統一する。
 - (2) 混合チームのユニフォームは、男女で違うユニフォームを着用し、番号が重ならないようにする。ただし、違うユニフォームを準備できない場合は、同一ユニフォームでも構わないが、男子・女子のいずれかが識別用バンドを腕か足首に付けるか、またはソックスの長さや色などで区別できるようにする。
 - (3) ユニフォームからはみ出すスパッツ、アンダーウェア等は、チームで統一されていることが望ましい。
2. テクニカルタイムアウトの取り扱いについて
 - (1) 「テクニカルタイムアウト（以下TTO）」は、選手及びスタッフ（小学生）の健康管理のためのタイムアウトである。
 - (2) TTOが開始されたら、選手はベンチの外側の端に位置する。
 - (3) ベンチスタッフ（大人）は、選手の健康観察を行い、不調が疑われる選手には直ちに対応する。
 - (4) ベンチスタッフ（大人）は、選手およびスタッフ（小学生）全員が給水できるように準備をする。
 - (5) ベンチスタッフ（大人）が選手に話しかけるときは、ベンチスタッフ自身が既定の位置に移動する。
 - (6) TTO中は、ベンチスタッフ（大人）がフロアモッピングを行うことができる。
3. 靴紐を結ぶ場合は、試合進行の妨げとならぬよう、ボールデット間に速やかに結ぶ。また、レフェリーに申し出る必要はない。
4. 試合中、ボールを使用しての練習が認められるのは、セット間においてエンドライン後方のフリーゾーンのみとする。ボールカゴは、ウォームアップエリア横（ベンチと反対側）に置く。
5. 監督は、試合を妨害しない限り、フリーゾーン内ならばアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでの範囲内において、一時的にベンチを離れてコート上の選手に指示を与えても良い。ただし、ラリー中はベンチに座らなければならない。
6. ワイピングについて
 - (1) 試合中は、コート内の選手が自分で用意したタオルで速やかに拭く。
 - (2) 公式練習終了後、タイムアウト及び、セット間には、選手またはチームスタッフがモップを使用してコート内とサービス・ゾーンのワイピングを行う。
7. 「軽度の不法な行為」「罰則につながる不法な行為」について
 - (1) ベンチスタッフ（ファーストレフェリー）の判定の後、ラインジャッジ、ファーストレフェリー、セカンドレフェリーに対して威圧的な態度を示したり不満を口にしたりした場合（無作法な行為、侮辱的な行為、攻撃的な行為）は、ルールに従いファーストレフェリーが、「軽度の不法な行為」「罰則につながる不法な行為」として適切に対応する。また、コンプライアンス規程違反としての対応も必要となるため、試合終了後、大会審判委員長にその内容を報告する。
 - (2) 観戦者が上記（1）と同様の行為を行った場合、観戦者の行為に対するルールブック上の規程はないが、度を越した選手への指示（選手が指示に耳を傾ける態度を示した場合）やレフェリーへの不満の声は、試合にも大きく影響するため見過ごすことができない。直接、行為者に罰則を与えることができないため、行為者に代えて監督に対して上記（1）と同様の対応をとるようにする。その際、試合を中断し、監督にその旨を伝えるとともに、対象となる観戦者の方向を示すなどして、行為者及び他の観戦者にも状況が伝わるようにして自制を促す。
8. チーム審判（ファーストレフェリー・セカンドレフェリー、ラインジャッジ・点示・スコアラー（簡易IF））について
 - (1) 準々決勝までは、役員をサポートのもと該当チームから1名ずつが、ファーストレフェリー・セカンドレフェリーを行う。ただし、男子の第1・2試合目、女子と混合の第3試合目は、1チーム単独でレフェリーを2名出す。
 - (2) 服装は、試合時の服装に準じる。各自で吊り下げ名札（チーム名を記入）を準備して着用するか、チーム名の入った上着を着る。
 - (3) 審判に必要な用具を準備する。（ホイッスル、トスコイン、筆記用具、腕時計）
 - (4) ラインジャッジ（4名）と点示（1～2名）と簡易IF（1～2名）は、各チームで行う。

	第1試合	第2試合以降(混合準決勝含む)	準決勝(男子・女子)	代表決定戦	決勝戦(男子・女子)	決勝戦(混合)
	該当コート第2試合目のチーム	該当コート直前の試合のチーム	準々決勝の敗者チーム 男子A3はA2とB2、C3はD2とC2 女子A4はA3とB3、C4はD3とC3	決勝戦のチーム	代表決定戦のチーム	準決勝の負けチーム
主審	プログラム番号が前のチーム	負けチームから1名	大会役員で行う		大会役員で行う	
副審	プログラム番号が後のチーム	勝ちチームから1名				
ラインジャッジ 点示・簡易IF	両チームから4名ずつ	負けチームから6～8名	両チームから4名ずつ		両チームから3名ずつ (IFは大会役員で行う)	